



地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース

開院8周年を迎えて

当院は、平成 25 年 7 月 1 日をもってお蔭さまで満 8 周年を迎えることができました。この間、安心・安全な医療を続けてこられたのは、練馬区医師会はじめ近隣地区医師会の先生方のご支援ご協力、また、練馬区行政ほか関係各位の皆さまの賜物と感謝申し上げます。取り分け当院におかかりの皆さまの信頼こそが、私ども日々病院で働く職員の支えでございます。皆さまの期待と信頼に応えられるよう、順天堂の学是「仁」、理念「不断前進」の精神のもと、大学病院として最新・最善の医療を提供しつつ、今後も地域医療に尽くしてまいります所存でございます。



院長 児島邦明

平成 24 年 9 月から東京都 CCU ネットワークに参加し、平成 25 年 6 月より最新 PET-CT を導入し、がん診療の一層の充実を図り、7 月からは区内産科クリニックの先生方とセミオープンシステムをスタートし、更なる診療の充実を目指しております。開院以来当院は 1 日 1,300 名を超える外来患者さんに来院いただき、400 床の入院病床も常に満床状態が続いております。皆さまには、外来のスペース不足、待ち時間など、大変ご迷惑をおかけしております。目下の病院としての最大の課題は、入院治療や緊急治療の必要な患者さんの病床確保の点でございます。入院を必要とされる患者さんを一人でも多く治療できるよう、入院病床の増床実現に向け、何卒、皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

今後も当院は、練馬区 71 万区民の方々はじめ、周辺地域の皆さまに「安心」、「安全」の医療をお届けできるよう、誠心誠意、努めてまいります。これからも、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



地域の皆さまの
心と身体のおアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

名誉院長 宮野 武

開院満8周年を迎え、これまでを振り返ってお世話になった各方面に対し、ただ感謝の言葉あるのみです。

まずは、地元練馬区民の皆さま、並びに志村区長以下練馬区役所の方々、秋田練馬区医師会長以下練馬区医師会の先生方、小川秀興理事長以下学校法人順天堂、順天堂大学の方々、そして当院の発展に開院以来直接関わった職員の方々に対し、深甚の感謝の意を表したいと思います。

今後もさらに練馬区の方々に最善の医療を提供出来るよう、不断の努力を続けますので、変わらぬご協力ご支援をお願い申し上げます。



宮野 武

副院長 野沢 雅彦

開院以来、練馬区の皆さまに安心して高度な医療が受けられることを目指して医療活動を行ってきましたが、開院8年を迎えることができました。本当にご支援をいただき、ありがとうございました。

地域に根ざした、地域の方々に愛される病院になれるように努力してまいりましたが、まだまだ、改善しなければならない課題があります。皆さま方からの貴重なご意見をいただきながら、われわれ職員は一層の努力を行い、より信頼され、安全で、心のこもった医療を展開したいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。



野沢 雅彦

副院長 宮崎 招久

平成17年7月に開院しました順天堂大学練馬病院は、8周年を迎えることができました。多くの患者さんが外来受診され、入院病床も満床に近い状況は、当院が練馬区民の皆さまに信頼される病院として認めていただけたと感謝しております。

この3月には電子カルテの入れ替えも終了し、より良い診療の向上を目指し、今後も職員一丸となり、地域の医療機関との連携をとりながら、皆さまにより一層愛される病院になれるように努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



宮崎 招久

院長補佐 浦尾 正彦

順天堂大学練馬病院は、開院より8周年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆さまのご支援によるものと心から感謝申し上げます。

今後も当院の使命である、救急、小児・周産期、がん、災害医療に対する地域の中心として励むとともに、皆さまからのより一層の信頼が得られますよう、安全、安心な医療と、医療の質の向上を目指し、職員一同努力してまいります。また、当院の持ち味であるICT(情報通信技術)を駆使したチーム医療、地域連携にも取り組んでまいります。今後とも多くのご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



浦尾 正彦

院長補佐 住吉 正孝

順天堂大学練馬病院も本年7月で8周年を迎えることができました。これも、地域住民の皆さまのご支援、ご協力の賜物と感謝しております。

また、臨床研修病院としても6年目を迎え、毎年25名以上の若い臨床医を育ててまいりました。順天堂大学は、今年で創立175周年になります。

順天堂附属病院の中で最も歴史の浅い練馬病院ですが、児島院長のもと、若いスタッフと共にこれからも練馬区を中心とした地域医療に少しでも貢献できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



住吉 正孝

看護部長 岡田 綾

地域の皆さまに支えられながら、お蔭さまで8周年を迎えることができました。

患者さんのいちばん近くにおいて、心とからだ、そして生活を支える看護がしたいと、全員で日々努力を続けております。「順天堂大学練馬病院で成長をめざす!」という若い看護師や学生もだんだん増えており、うれしい変化とっております。患者さんに満足していただけるチーム医療の担い手として、今後も新しいチカラの育成に力を注いでまいります。皆さまのご指導よろしくお願いいたします。



岡田 綾

事務部長 黒田 稔

順天堂大学練馬病院は、本年、地域の皆さまに支えられて8周年を迎えることができました。

今日まで、練馬区からの要請であります救急、小児・周産期、がん、災害医療に重点をおき進めてまいりましたが、さらに充実すべく努力してまいります。

今後も地域から信頼される病院を目指し、職員一丸となって取り組んでいく所存でございますので、ご支援いただきますようお願い申し上げます。



黒田 稔

臨床研修医 軽井沢セミナー

臨床研修センター

2013年6月7日(金)～8日(土)、練馬区立少年自然の家「ベルデ軽井沢」にてセミナーを開催しました。軽井沢の地で心身ともにリフレッシュすることができ、集中して貴重な時間を過ごすことができました。基本手技や初期治療について学び、今後の診療に役立てたいと思います。



縫合・糸結び・CV/針生検



四肢のギプス固定法



急変時の対応と呼吸管理



モニター付き除細動器を使い倒す!



腹部エコー



仁邦法律事務所 桑原博道弁護士



研修を通してコミュニケーションも
深まりました!



練馬区地域医療企画調整課

われわれ順天堂大学練馬病院の医療スタッフは、順天堂の学是「仁」の精神のもと、臨床研修医を一日も早く良医に育成し、医療を通じて皆さまの健康維持に貢献していきたいと願っています。

新人看護師 軽井沢セミナー

看護部

練馬区立少年自然の家“ベルテ軽井沢”で、「チーム練馬病院“団結と癒し”」をテーマに2013年6月7日(金)～8日(土)、1泊2日の研修を行いました。練馬病院には地域に根差した高度医療を学びたいと全国から看護師が集まってきます。今回の研修では、練馬区の災害時医療体制や医療安全の基本についての学びを深めました。また、グループワーク、スポーツではチームの大切さを実感しました。



ベルテ軽井沢



1つのテーマでディスカッション



講義風景



グループ発表



グループワーク



団結を深め、有意義な時間を過ごしました。



サッカーやテニスで団結を深める

熱中症にご注意を！

救急・集中治療科 科長 杉田 学

皆さん、既に熱中症にかかる方が大勢出てきました。熱中症は、高温多湿な環境で発生します。もともと日本の夏は湿度が高く、猛暑では発症数が多くなります。高齢の方や小児・幼児は体温の調節に不利なことが多いため、発症しやすいことがわかっています。炎天下で働いたり、激しい運動をしたりする方は若年といえども注意してください。

また、抗てんかん薬や、睡眠薬などの向精神薬、アルコールを飲んでいる状態も熱中症を起こしやすいと言われていきます。表に示す症状の時は、熱中症の疑いがあります。I度の場合は涼しい場所に移動して、水分を補給しましょう。症状がすぐに改善しない場合や、II度以上の場合には、すぐに医療機関を受診しましょう。必要なら迷わずに救急車を呼びましょう。当院では、24時間体制で救急患者を受け入れていますので、受診を希望される方は救急外来受付まで電話で連絡をしてください。



科長 杉田 学

I度(軽症)

目の前が暗くなる
失神・ふくらはぎのけいれん
四肢や腹筋のけいれん
血圧低下・皮膚蒼白

<対応>

上記の症状が徐々に改善している場合のみ、現場での応急処置と見守りで良い



II度(中等症)

強い疲労感・めまい
虚脱感・頭重感・吐気
おう吐・下痢・体温上昇
多量発汗・頻脈

<対応>

II度の症状が出現あるいは、I度の症状に改善が見られない場合は、すぐに医療機関を受診



III度(重症)

深部体温 39℃、あるいは、わきの下で 38℃以上の発熱に加え以下の症状がある場合

1. 意識障害、もうろう状態、おかしい言動、けいれん等
2. 肝臓・腎臓の機能障害
3. 血液凝固異常

<対応>

III度熱中症は、医療機関で検査を行った結果、診断されるので、II度以上を疑ったら必ず医療機関を受診



順天堂醫院の歴史

順天堂醫院の初代院長 佐藤^{たかなか}尚中

御茶の水の順天堂醫院が現在地に開院したのは、明治8年であった。

しかし、順天堂はそれ以前にわずか2年であったが、下谷練塀町（現在の秋葉原駅構内）に当時は珍しかった私立病院を開院していた。院長は、二代目堂主佐藤尚中であった。尚中は、明治2年に明治政府の要請で、佐倉から上京して、東京大学医学部の大学大博士（校長に相当する地位）に就任していた。

ところが明治4年、東京大学にドイツからお雇い教師が来日して、大学の一切の権限を握り、医学生の大半を退学させ、外来患者の数も限定した。そのため尚中が診ていた患者も、医学生も行く場を失った。それに心を痛めた尚中は、佐倉藩に戻る予定をやめて、下谷練塀町に病院を開院して患者の診察を行い、医学生を教育した。名医佐藤尚中の診察を求める患者で、練塀町の病院はたちまち満床となった。その上、練塀町は低地で水はけも悪く、土地も狭かったので、尚中は御茶の水の高台に土地を求めて、明治8年4月に順天堂醫院の現在地に病院を開院して、塾生の教育を始めたのであった。



順天堂大学医学部医史学研究室
特任教授 酒井シヅ

「かかりつけ医」の紹介状を ぜひお持ちください

当院の初診には、
原則としてお近くの医療機関からの紹介状が必要です。
紹介状をお持ちでない方には、
初診時選定療養費3,150円(税込)を
いただいております。
また、紹介状をお持ちの方を優先して
診察させていただきます。

「かかりつけ医」を持ちましょう!

当院は、皆さんのかかりつけの先生と連携した診療を行っています。
地域に密着した診療を行うために、そして患者さん一人ひとりに安全で根拠に基づく適切な質の高い医療を提供するために、ご自宅や職場の近くに「かかりつけ医」をお持ちいただくことをお勧めします。

選定療養費とは?

病院と診療所との機能分担を図るために、国が定めた制度です。200床以上の病院は、紹介状をお持ちでない方から、初診料のほかに各病院が定めた金額を徴収する制度です。

